

今年で五年目を迎えた「ハッピーボックス」には、毎日のように新橋小の子どもたちの「あったか〜い」メッセージがたくさん投函されています。（毎週金曜日の給食の時間に放送で紹介しています。）

令和四年度、最初のテーマは「今年がんばりたいこと」。

入学して間もない一年生からもメッセージが届きました。

第二弾は「どんなときに笑顔になりますか。そしてその笑顔の輪を広げてほしいです」。

一ねん おおはし さき

じのべんぎょうをがんばりたいです。さんすうのべんぎょうをがんばりたいです。うんごうかいをがんばりたいです。

二年 やすい りょうすけ

ことしもあいさつをがんばってあいさつ名人になりたいです。一日に十二回あいさつをしたいと思います。

二年 さえき ゆう

わたしのもくひょうは、どくしょノートで八さいくんとです。ハリー・ポッターとかみやざわけんじさんの本をたくさんよみたい。

三年 たて野 たかひろ

しよつぎのブックになるために、しよつぎの本を読んでいます。父さんとたまにしようきをやります。

四年 和田 歩美

今年、私はみんなとなかよくなりたいたいです。そのために「①やさしくする ②みんなのいいところを見つける」をがんばりたいです。

五年 片野 柊真

ほくは、今年、委員会活動をがんばりたいです。初めての委員会なので、わからないことも多いだろうけれど、そんなときは六年生に聞きながらだんだんと慣れたいです。

六年 重野 慶太

あいさつをがんばりたいです。「あいさつ日本一」という目標でこれまでの六年生が伝統をつないでくれたので、それを受けて最高学年としてがんばりたいです。



一ねん かとう ゆうき

ふれあいはんのげえむがたのしかつたです。はんちようがやさしかつたです。またやりたいです。またあいたいです。

一ねん かなくぼ ひなた

くらすみんなのがんばつているすがたをたくさんみたいです。みんなをえがおにしておともだちをつくりたいです。

一ねん なかにし はるみち

きゆうしよくたべたらえがおになります。のこさずたべたいです。

二年 野口 さき

みんなとあそぶときたのしくてえがおになります。なかだかたのしい気分になってわくわくしてえがおになります。もっと校庭に出て、みんなとあそびたいです。

三年 いげざわ ゆうた

友だちと思いきりあそべるときがたのしいなと思います。新しい友だちをたくさんつくって、さらに楽しくあそべるようにしたいです。

三年 たきざわ そうし

一番えがおになるのはお手つだいをしておごつかいがもらえるときです。おひろそうじやリボンクのクリーナーがけをしているとおかあさんがわらつてくれてほくもえがおになります。

三年 大平 はると

ほくがえがおになるときは友だちがやさしくしてくれたり一人のときにさそつてくれたりするときです。えがおのわを広げるにはやさしくすること「いじめとちくちくことばをつかわないこと」です。

四年 大嶋 あや

みんなと協力して何かをたつせいできたときです。みんなときずなをふかめられるのとみんなの笑顔を見られるからです。私は人々をたくさん笑顔にしていきたいです。

四年 林 輝羽

私は、みんなと話しているときや外でみんなと遊んでいるときに笑顔になります。もっと笑顔を広げるには、友達をどんどんさそつて遊んだり話したりしたいです。

り話したりしたいです。

五年 小林 悠斗

ほくは、みとめ合えたときやわかり合えたとき笑顔になります。この笑顔を広げるためにおたがいの自分らしさをみとめ合いそんちようし差別をしないようにしています。

五年 館野 果陽莉

友達と遊んでいるときに笑顔になるので、たくさんの人と遊びたいと思います。学年に関係なく、いろいろな学年の人と遊びたいです。

六年 福田 侃右

下校のとき、地いきの人に「こんにちわ」と言うこと「こんにちわ、おかえり」と返してもらえます。そんなときほくは笑顔になります。

六年 加藤 世霸

あいさつをしてあいさつを返してもらつと笑顔になります。その笑顔を広げるために「あいさつ日本一」を目指して新橋小の一人一人があいさつをがんばりたいです。